

名古屋アイスロータリークラブ

RID2760 THE ROTARY CLUB OB NAGOYA IRIS
 ~ ローターに輝きを LIGHT UP ROTARY ~
 2014-15 年度国際ロータリー会長 ゲイリー C.K ホアン

例会日:毎週水曜日 13:00~14:00
 例会場:ANA クラウンプラザ グランコートホテル名古屋
 創 立:2013 年 6 月 5 日
 会 長:荒山 久美 「進化するアイリス」



■ 第 2 回夜間例会(例会変更)が、10 月 21 日(火) 18:00 から、八事の老舗フレンチレストラン「Ch e z K O B E (シェ・コーベ)」にて、開催されました。

出席者 21 名/会員数 34 名 (出席率 61. 76%)

■ 例会の様子的一端を報告します。

【幕前】 同日昼間には、涼仙ゴルフ場において、細川会員&稲葉会員御紹介の「女子プロシニア」メンバーと一緒に回るゴルフ会が開催されており、これに参加後、駆けつけてきた会員も多くいました。

【開演】 定刻より幾分遅れた 18:15 ころ、藤森幹事の司会、加藤親睦委員長の乾杯で、和やかに、秋の夜間例会の幕が上がりました。

☆☆☆

【第 1 幕】『仲間と共に美味しい料理を楽しむ!』

饗された、目にも舌にもやさしく華やかなお料理とこれを引き立てる器の数々を、及ばずながら報告しますと(シェ・コーベ社長須賀会員から、冒頭にお料理の御紹介をいただきました)

最初のアミューズブーシュとして、2 種の小さなシュー(多分、サワークリーム&キャビア、イクラ?)。

前菜は、

マグロのタルタル・ゼリー寄せ、

オマールエビと季節野菜のグリル。

&なめらかな(ゴボウ?)のポタージュスープ。

その後、シェ・コーベご自慢のフォアグラ料理(毎度のことながら、表面はカリッと香ばしく、中はフワリと、見事な火のとおり具合)、

本日の魚料理は、甘鯛の鱗付ボワレ・スープソース添え(鱗がきれいに立ったパリッとした食感と、甘みのある白身と隠し味の※※酒が入ったスープが絶妙の味わいでした)、

メインディッシュは、小ぶりの柔らかな牛ステーキ、と続き、

最後の締めデザートは、凍らせたアフォガードまたはティラミス(バニラアイスクリーム+エスプレッソのかき氷風+マスカルポーネチーズ?アイス)&コーヒー。さっぱりとして美味でした。





♪ ♪ ♪

そろそろ、お腹もくちく、賑やかなおしゃべりも一段落となったころ、岩崎会員（「クラシック名古屋」社長）のご尽力による本日の

【第2幕】『仲間と共に美しい音楽を楽しむ！』

バイオリニスト澤田幸枝氏とピアニスト石川馨栄子氏による音楽の夕べ、が始まりました（お二人は、愛知県立芸術大学同窓のご友人とのこと）。



ピアノの音が、柔らかく、時を重ねた壁と天井と床に響きわたり、バイオリンが跳ね、踊り、空間丸ごと、音楽に満たされていきました・・・

最初の一曲は、「愛の挨拶」（エルガー作）。

続いて、ピアノソロ、チャイコフスキーの「四季（作品番号37b）より第10曲「秋の歌」。これは、「10月」の曲だそうですが、日本の10月のイメージからすると、やや重くもの悲しい雰囲気は、作曲家の故郷ロシアの風土がルーツとなっているからでしょうか、との御案内でした。

そして、澤田氏が留学されたフィンランド生まれの作曲家シベリウスの「ロマンス」。シベリウスは、元々バイオリニスト志望だったので、曲にも、様々な技巧が凝らされているのだとか。

さらに佳境に入り、ショパンの「ノクターン第8番変ニ長調」（作品番号27-2）。

続いて、浅田真央さんが、ソチ五輪フィギアスケートのショート・プログラムで使用したことでも有名な「ノクターン第2番変ホ長調」（作品番号9-2）、で、終演となりましたが、

お二人の息の合った演奏にすっかり引き込まれた聴衆から、盛大な拍手とブラボー！の歓声！！

お二人は、快くアンコールに応じて、モンティ作「チャルダッシュ」。これも、浅田真央さんが、早い時期に使用された曲とのこと。躍動的なリズムとメロディに、我々も、奏者と一体になったかのように、一層、気分が高揚しました・・・♪♪

♪ ♪ ♪

☆☆☆

【閉幕】そして、遂に、お開きの時間。

名残りを惜しみつつ、シェ・コーベの石段を、お店の方に見送られながら、三々五々と、下って行きました。

【後刻談】どうやら、その後、男性有志は、再び市内某所へ繰り出し、女性陣は、市内某ホテルにて、初めての女子会、となったようです。